

●当院採用薬の粉碎可否について その1

2025年6月現在、当院院内採用薬品のうち、錠剤の粉碎可否について一覧に示します。

- 粉碎可であると推測されるもの
- △ 条件付きで粉碎可であると推測されるもの
- ✗ 粉碎不可であると推測されるもの

※50音順にて記載（先発品・後発品混合）

参考資料 添付文書、インタビューフォーム、各社ホームページ、錠剤・カプセル剤粉碎ハンドブック 第8版、山口大学附属医学部病院薬剤部作成 粉碎・脱cap一覧（2023.4.20）

院内採用薬	粉碎可否	院内採用薬	粉碎可否
アイセントレス	○	アルファカルシドール	○
アキネトン	○	アルプラゾラム	○
アコファイド	△	アレビアチン	○
アサコール	✗	アレンドロン酸	✗
アザルフィジン	✗	アロプリノール	○
アジルサルタン	△	アンブロキソール	△
アストミン	△	イグラチモド	✗
アスパラカリウム	✗	イスコチン	○
アセトアミノフェン	○	一硝酸イソソルビド	○
アゼルニジピン	△	イミダフェナシン	△
アゾセミド	△	イミダプリル	○
アトルバスタチン	△	イムラン	△
アブストラル	✗	イルアミクス	△
アマンタジン	△	イルベサルタン	○
アミオダロン	○	インデラル	△
アムロジピン	△	ウテメリソ	△
アメジニウム	△	ウプトラビ	✗
アメナリーフ	○	ウブレチド	△
アリナミンF	○	ウラリット	△
アリミデックス	✗	ウルソデオキシコール酸	○

院内採用薬	粉碎可否	院内採用薬	粉碎可否
ウロカルン	×	オルミエント	×
エサンブトール	×	オルメサルタン	△
エスゾピクロン	△	オロパタジン	△
エスワン	×	オンジエンティス	△
エゼチミブ	○	ガスコン	○
エチゾラム	○	カバサール	△
エドルミズ	×	カムシア	△
エナラブリル	△	カモスタッフ	△
エパルレstatt	△	カリジノゲナーゼ	×
エピナスチン	△	カルバゾクロム	○
エフピー	○	カルバマゼピン	○
エペリゾン	△	カルベジロール	△
エリキュース	△	カルボシステイン	○
エリスロマイシン	×	カレトラ	×
エンレスト	○	カンデサルタン	○
オーグメンチン	△	グーフィス	△
オキシコドン	×	クエチアピン	○
オメプラゾール	×	クエン酸第一鉄	△
オランザピン	△	グラクティブ	○
オルケディア	△	クラリスロマイシン	△

院内採用薬	粉碎可否	院内採用薬	粉碎可否
グリチロン	△	スーグラ	△
グリベック	×	スタレボ	△
グリメピリド	○	ストロメクトール	△
クロチアゼパム	○	スピロノラクトン	○
クロピドグレル	△	スルピリド	○
ゲフィチニブ	×	セファドール	△
コートリル	△	セフカペンピボキシル	△
コララン	○	セルシン	○
コルヒチン	△	セルニルトン	△
コンサーダ	×	ゼルヤンツ	△
サルポグレラート	△	セレコキシブ	○
ジェニナック	△	ゼローダ	×
ジセレカ	×	センノシド	○
シダキュア	×	ゾニサミド	○
シベンゾリン	○	ゾフルーザ	△
ジャディアンス	△	ソリフェナシン	×
シルニジピン	△	ゾルピデム	△
シロスタゾール	○	ゾルミトリプタン	△
シロドシン	△	ダーブロック	○
スインプロイク	△	ダイフェン	△

院内採用薬	粉碎可否	院内採用薬	粉碎可否
タクロリムス	△	デュタステリド	×
タケキャブ	○	デュロキセチン	×
ダフクリア	○	テルビナフィン	○
タムスロシン	×	トアラセット	○
タリージェ	△	ドキサゾシン	○
炭酸ランタン	△	ドネペジル	△
チアブリド	○	ドパコール	△
チザニジン	○	トフィソパム	△
チラーチン	○	ドブス	△
沈降炭酸カルシウム	○	トラセミド	△
ツイミーグ	○	トラゼンタ	×
ツートラム	×	トラゾドン	△
デエビゴ	○	トラディアンス	△
テオドール	×	トラベルミン	△
デカドロン	○	トリクロルメチアジド	○
デキストロメトルファン	○	トリプタノール	○
デシコビ	△	トリメブチン	△
テトラミド	○	トルバブタン	○
テネリア	△	ナイキサン	△
デノタス	△	ナルサス	×